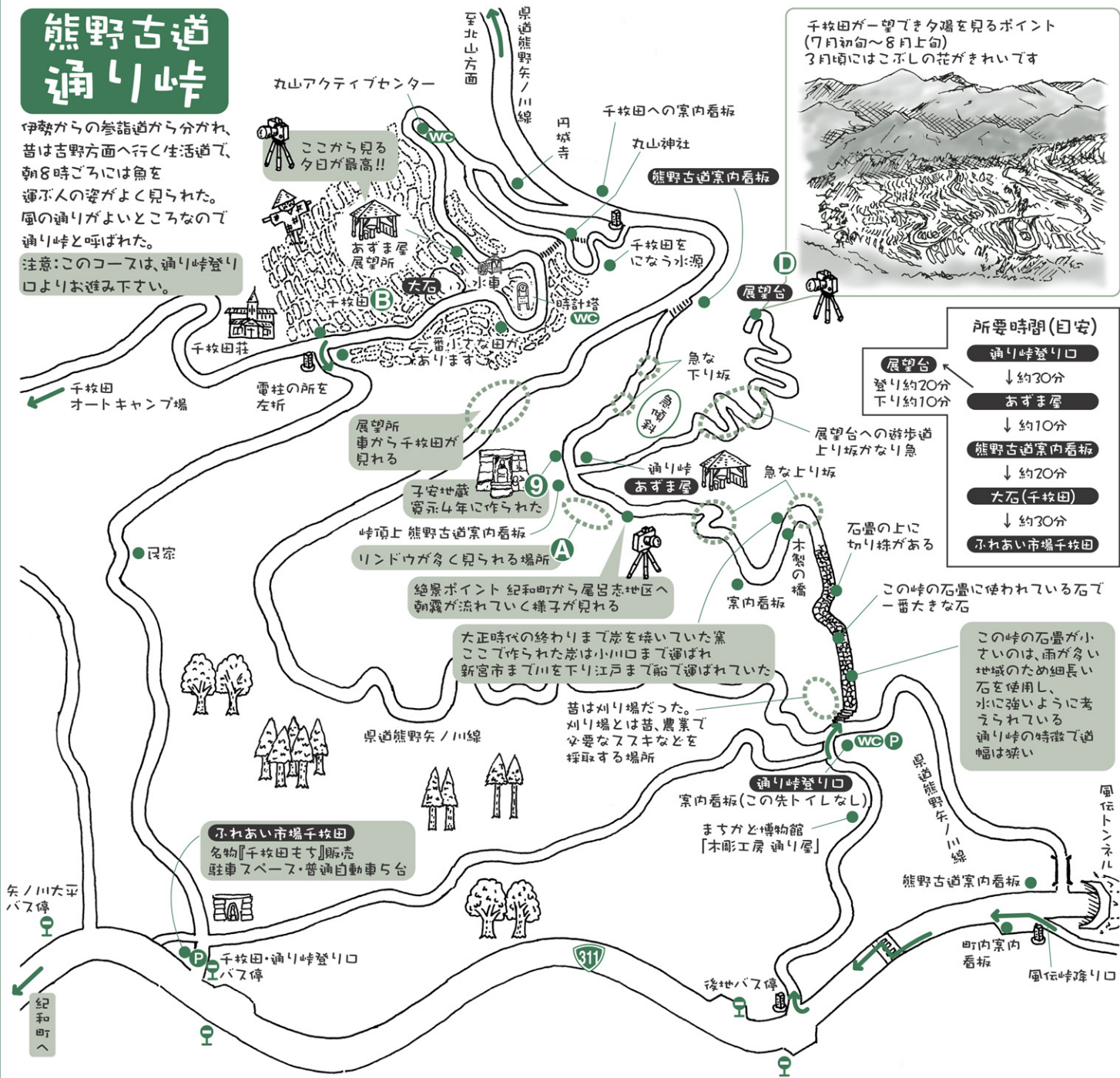


# 熊野古道 通り峠

伊勢からの参詣道から分かれ、昔は吉野方面へ行く生活道で、朝8時ごろには魚を運ぶ人の姿がよく見られた。風の通りがよいところなので通り峠と呼ばれた。

注意:このコースは、通り峠登り口よりお進み下さい。



千枚田が一望でき夕陽を見るポイント  
(7月初旬~8月上旬)  
3月頃にはこぼしの花がきれいです



## 所要時間(目安)

- 通り峠登り口
- ↓約30分
- あずま屋
- ↓約10分
- 熊野古道案内看板
- ↓約20分
- 大石(千枚田)
- ↓約30分
- ふれあい市場千枚田

展望台  
登り約20分  
下り約10分

展望所  
車から千枚田が見える

子安地藏  
寛永4年に作られた  
峠頂上 熊野古道案内看板  
リンドウが多く見られる場所

絶景ポイント 紀和町から尾呂志地区へ  
朝霧が流れていく様子が見れる

大正時代の終わりまで炭を焼いていた窯  
ここで作られた炭は小川口まで運ばれ  
新宮市まで川を下り江戸まで船で運ばれていた

昔は刈り場だった。  
刈り場とは昔、農業で  
必要なススキなどを  
採取する場所

この峠の石畳に使われている石で  
一番大きな石

この峠の石畳が小さいのは、雨が多い  
地域のため細長い  
石を使用し、  
水に強いように考  
えられている  
通り峠の特徴で道  
幅は狭い

ふれあい市場千枚田  
名物『千枚田もち』販売  
駐車スペース・普通自動車5台

通り峠登り口  
案内看板(この先トイレなし)

まちがと博物館  
『木彫工房 通り屋』

熊野古道案内看板

町内案内看板

風伝峠下り口

矢ノ川大平  
バス停

千枚田・通り峠登り口  
バス停

後地バス停

風伝トンネル